

# 書類閲覧 利用環境

令和 2 年 3 月

金融庁 企画市場局 企業開示課

- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ◆Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標又は登録商標である場合があります。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標又は商標です。
- ◆その他、記載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標又は商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本文及び添付のデータファイルで題材として使用している個人名、団体名、商品名、ロゴ、連絡先、メールアドレス、場所、出来事等は、全て架空のものです。実在するものとは一切関係ありません。
- ◆本書に掲載されている内容は、令和 2 年 3 月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書で公開している情報の利用については、利用規約(<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/EKW00Z0030.html>)を遵守してください。
- ◆本書に記載の会社名及び製品名について、金融庁はそれらの会社、製品等を推奨するものではありません。

1 利用環境について	4
1-1 フィルタリングソフトを導入している場合	5
2 CSV への変換ツール利用時の事前準備	6
3 Internet Explorer 利用時の事前準備	7
3-1 事前準備の概要	7
3-2 信頼済みサイトへの登録	8
3-3 証明書の設定	11
3-3-1 証明書設定の必要性確認	11
3-3-2 証明書の設定	13

# 本書について

本書は、「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を利用するためのコンピュータの操作環境及び必要な設定変更について説明しています。

## EDINET を御利用いただくために






EDINET で開示書類を閲覧するための前提知識として、一般的な Web ブラウザを使用し、インターネットが御利用いただける方を対象としています。

## 本書の表記について

本書の説明で使用している環境とお使いの環境でソフトウェアのバージョンが違う場合に画面の表示が異なる場合があります。

## 本書の記載について

本書内に記載している記号は、次のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
POINT 	操作に関連するポイントについて説明しています。		画面の入力又は選択する項目等を指します。
MEMO 	知っておいていただきたいことについて説明しています。		画面で表示された項目を指します。
 重要	重要事項について説明しています。必ずお読みください。	《 》	画面の項目名を指します。 例：《EDINET コード》をクリックします。
[ ]	画面名を指します。 例：[提出者検索画面]が表示されます。	【 】	キーを押す操作を指します。 例：【F5】キーを押します。

## 製品名の記載について

本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows Internet Explorer	Internet Explorer
Adobe Acrobat Reader DC	Acrobat Reader

**<<EDINET の利用に当たって>>**

EDINET を装い、ユーザ ID、パスワード等の個人情報を盗もうとする偽の Web サイトに注意してください。

このような Web サイトに誘導するメールが届いても、リンク先にアクセスしたり、添付ファイルを開いたりしないように注意してください。

EDINET からメールで個人情報を照会することは一切ありません。

なお、ウィルス対策ソフトを最新の状態にするなど、御利用環境のセキュリティ対策をおすすめします。

# 1 利用環境について

「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を利用する場合の、コンピュータ環境について説明します。

EDINET の「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」は、下記の記載のハードウェア及びソフトウェアの組合せで動作確認をしています。

## <ハードウェア>

ディスプレイ解像度: 1024×768 以上

## <ソフトウェア>

オペレーティングシステム	Web ブラウザ
Windows10	Internet Explorer 11 ※1 Firefox ※2
Windows8.1	Internet Explorer 11 ※1 Firefox ※2
JRE (Java Runtime Environment)	8 の最新バージョン (32bit)

※1 拡張保護モードを無効に設定し、御使用ください。

また、EDINET では、サーバ側で「Internet Explorer9」として互換表示するように設定しています。

ブラウザの互換表示設定をする場合は、「Internet Explorer10」以降のモードを指定しないでください。

※2 バージョン 17 以上を御利用ください。セキュリティの観点から、最新バージョンの御利用を推奨しています。

※PDF の書類を閲覧するためのソフトウェア(例: Acrobat Reader)が必要です。

※JRE は、XBRL から CSV への変換ツールを利用する場合に必要です。

## 1-1 フィルタリングソフトを導入している場合

フィルタリングソフトを導入している場合で、EDINET に提出された書類を閲覧するときは、次の URL がアクセスできるように設定してください。

<EDINET>

<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

<https://disclosure-sorry.edinet-fsa.go.jp/>

<セコムトラストシステムズ社>

<https://repository.secomtrust.net/>

また、EDINET での書類閲覧にあたり、Adobe Reader が必要となります。また、XBRL から CSV への変換ツールを使用する場合は、JRE (Java Runtime Environment) が必要となります。御利用いただくコンピュータに事前にインストールしておくか、又はそれぞれのダウンロードサイトをアクセスできるように設定してください。

## 2 CSV への変換ツール 利用時の事前準備

「XBRL から CSV への変換ツール」を利用する場合は、事前に Oracle Corporation の「JRE (Java Runtime Environment)」のインストールが必要です。



### JRE (Java Runtime Environment) のダウンロードサイト

JRE (Java Runtime Environment) は、次の URL からダウンロードできます。

※次のウェブサイトは Oracle Corporation で運営されており、金融庁が運営しているものではありません。このアドレスは 2019 年 9 月時点のものです。

<https://www.oracle.com/technetwork/jp/java/javase/downloads/index.html>

### 1

Internet Explorer を起動し、Java のダウンロードサイトを表示します。

### 2

画面左上にある「Java SE」をクリックします。

### 3

以降の操作は表示される画面に従ってください。

Oracle Technology Network / Java / Java SE / ダウンロード

Java SE  
Java EE  
Java ME  
Java SE Subscription  
Java Embedded  
Java TV  
コミュニティ  
Java Magazine 日本版  
Java Card(US)

概要    ダウンロード    ドキュメント    コ

### Java SE ダウンロード

Java SE ダウンロードの最新版はこちら (US)

2019年4月より前までにリリースされた Java SE の License Agreement for the Java SE Platform Platform 訳をご参照の上、ライセンス条項に同意できる

### Oracle JDK のライセンスに関する

2019年4月16日のリリースより、Oracle JDKの新しいライセンス、Oracle Technology Network まで提供してきた過去のバージョンのJDKのライセンスでは、個人での利用や開発での利用などには無ライセンスで許可されていたその他の目的には使の製品をダウンロード、使用する前にライセン



# 3 Internet Explorer 利用時の事前準備

Internet ExplorerでEDINETを利用する場合、事前準備が必要です。事前準備の手順について説明します。

## 3-1 事前準備の概要

EDINET に接続する際に、御利用いただいているコンピュータで、初期設定から変更する箇所について説明します。

### 1 信頼済みサイトへの登録

Web ブラウザとして、Internet Explorer を使用する方は、[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト]を信頼済みサイトに登録します。



### 2 証明書の設定

Internet Explorer を使用する方のうち「証明書の自動更新」プログラムが有効でない方は、セコムトラストシステムズ社のウェブサイトから「Security Communication RootCA2 の自己署名証明書」をダウンロードし設定します。

## 3-2 信頼済みサイトへの登録

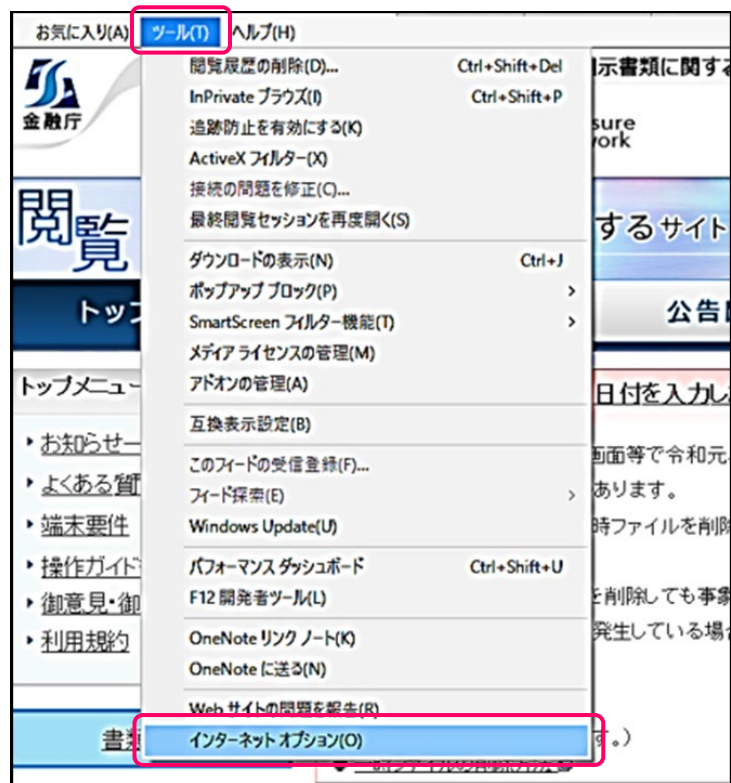
Internet Explorer を起動し、[有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト] を「信頼済みサイト」に登録します。「信頼済みサイト」には安全であることがわかっている Web サイトの URL を登録しておくことで、登録した Web サイトからのダウンロード及び実行時の警告が表示されず、また、実行時の制限を受けないようにできます。EDINET の [有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト] を正しく動作するように利用していただくために、信頼済みサイトへ登録します。

### 1

Internet Explorer を起動します。

### 2

メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。




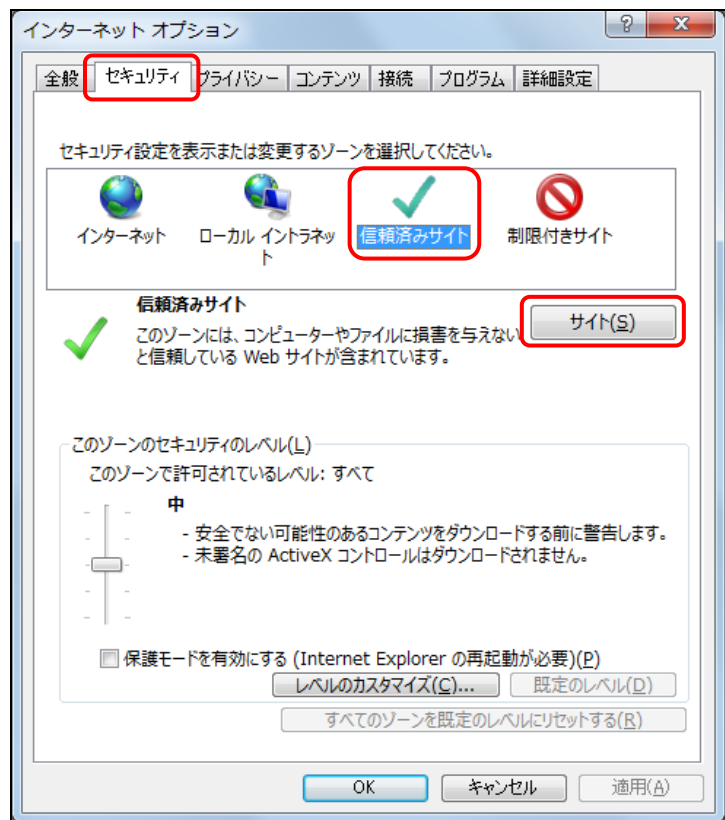
[インターネット オプション]が表示されます。セキュリティの設定をします。

### 3

《セキュリティ》タブをクリックします。

### 4

 (信頼済みサイト)を選択し、信頼済みサイト  (サイト)をクリックします。



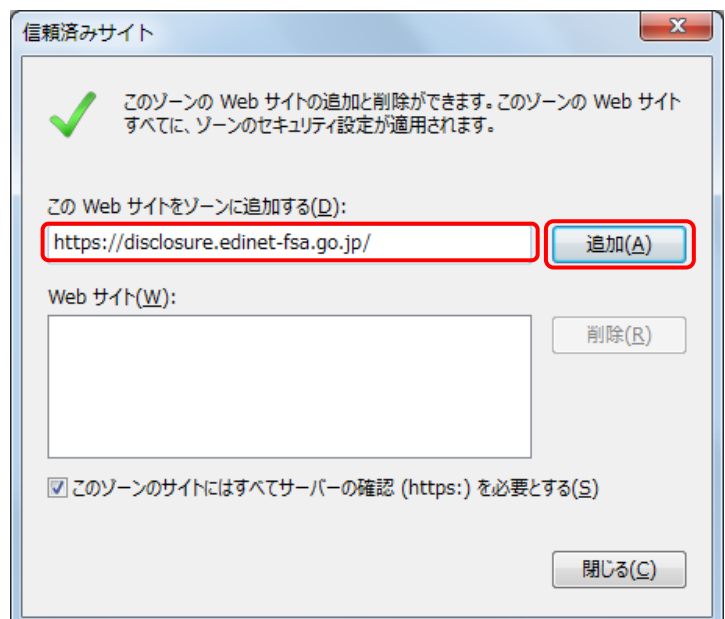
[信頼済みサイト]が表示されます。

### 5

《次の Web サイトをゾーンに追加する》に「<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>」と入力します。

### 6

(追加)をクリックします。

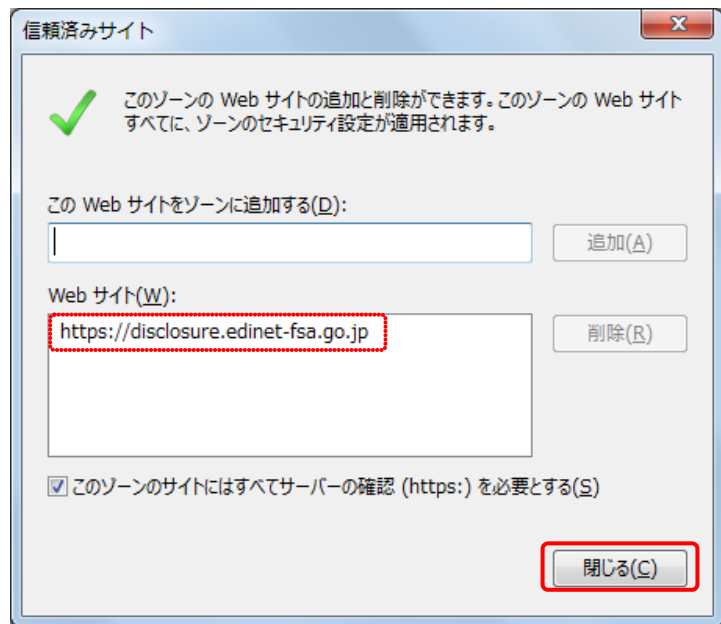


## 7

《Web サイト》に操作 5 で入力した URL が追加されたことを確認します。

## 8

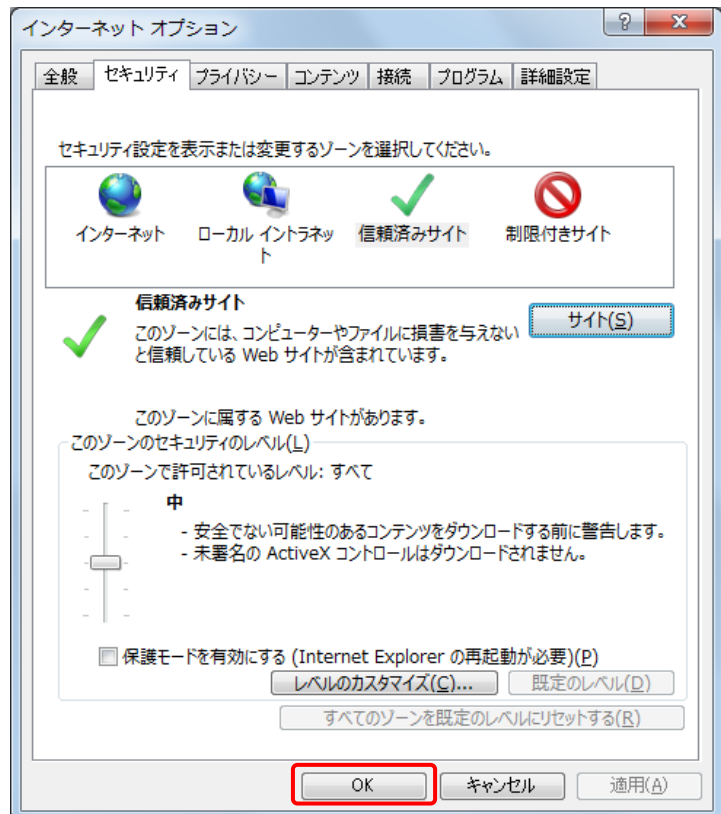
**閉じる(C)** (閉じる)をクリックします。



[インターネット オプション]に戻ります。

## 9

**OK** (OK)をクリックします。



## 3-3 証明書の設定

Internet Explorer を使用する方のうち「**ルート証明書の更新**」プログラムが有効でない方は、EDINET に接続するためにセコムトラストシステムズ社のウェブサイトから「**Security Communication RootCA2 の自己署名証明書**」をダウンロードし、御利用いただくコンピュータに設定してください。

設定の要否については、「3-3-1 証明書設定の必要性確認」の操作で確認します。設定が必要である場合は、「3-3-2 証明書の設定」の操作をします。

### 3-3-1 証明書設定の必要性確認

Internet Explorer を使用する場合は、EDINET の「**有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト**」に接続し、「**Security Communication RootCA2 の自己署名証明書**」を手動で設定する必要があるかを確認します。

#### 1

Web ブラウザを起動し、「有価証券報告書等の開示書類を閲覧するサイト」を表示します。

URL

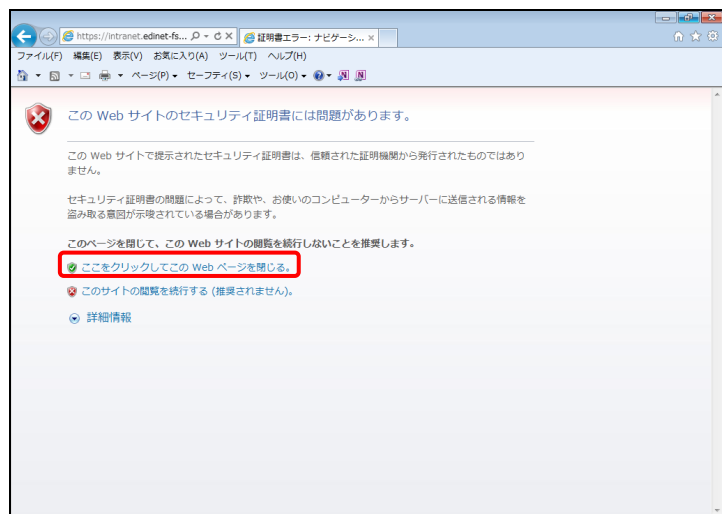


<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/> に  
接続してください。

#### 2

[セキュリティの警告]が表示される場合は、「3-3-2 証明書の設定」の操作が必要です。

《**ここをクリックしてこの Web ページを閉じる**》をクリックして Web ブラウザを終了します。

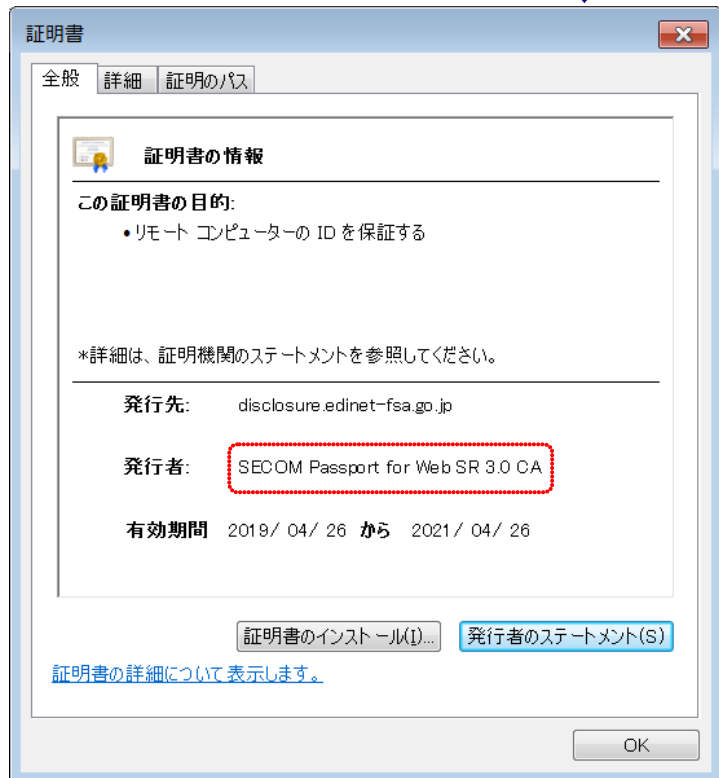
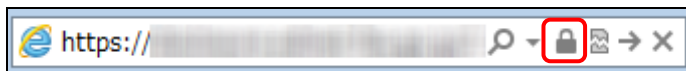


[セキュリティの警告]が  
表示されない場合

MEMO 

[セキュリティの警告]が表示されない場合は、「3-3-2 証明書の設定」は不要です。Web ブラウザの鍵マークをクリックし、[証明書]を表示します。

《発行者》に「SECOM Passport for Web SR 3.0 CA」と表示されることを確認します。



## 3-3-2 証明書の設定

---

セコムトラストシステムズ社のウェブサイトから、「Security Communication RootCA2 の自己署名証明書」をダウンロードし、御利用のコンピュータに設定します。



### セコムトラストシステムズ社のウェブサイト

---

「Security Communication RootCA2 の自己署名証明書」は次の URL からダウンロードできます。

<https://repository.secomtrust.net/SC-Root2/>

設定手順については、次の URL を参照してください。

[https://www.secomtrust.net/service/ninsyo/sr20evroot/root  
supdexe/index.html](https://www.secomtrust.net/service/ninsyo/sr20evroot/root<br/>supdexe/index.html)

※上記のウェブサイトはセコムトラストシステムズ社で運営されており、金融庁が運営しているものではありません。このアドレスは 2019 年 12 月時点のものです。

---





■■■ 改版履歴 ■■■

No.	改版日	改版内容
1	2013.08	初版
2	2013.09	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》が「ApplicationCA」と表示されることを確認します。」へ変更。
3	2013.12	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》を「ApplicationCA2 Sub」へ変更。 政府認証基盤(GPKI)の認証の更新のため、「アプリケーション認証局の自己署名証明書」を「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」へ変更。あわせて、「2-3-2 証明書の設定」の画像を差し替え。 「2-3-2 証明書の設定」の「2」について、「《アプリケーション認証局2》をクリックし、」へ変更。
4	2014.04	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、オペレーティングシステム「WindowsXP」を削除し、「Windows8」及び「Windows8.1」を追加。 Web ブラウザに「Internet Explorer 10」及び「Internet Explorer 11」を追加。 JRE を「Version7 Update7」から「Version7 Update51」に変更。
5	2015.02	「1 操作環境について」に JRE8 を追加。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version7 Update51」から「Version7 Update75」に変更し、「Version8 Update31」を追加。
6	2015.04	「1 操作環境について」から JRE7 を削除。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version8 Update31」を「Version8 Update45」に変更し、「Version7 Update75」を削除。
7	2016.01	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。 ・Windows8.0、Internet Explorer 10 ・Windows7 SP1、Internet Explorer 8～10 ・Windows Vista SP2、Internet Explorer 7～8 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」の JRE に関する記載を修正。 「1-1 Windows Vista をお使いの方へ」を「1-1 Windows Vista 又は 8.1 をお使いの方へ」に変更。
8	2016.03	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを追加。 ・Windows10、Internet Explorer 11 ・Windows10、Firefox 「1-1 Windows Vista 又は 8.1 をお使いの方へ」を「1-1 Windows Vista、8.1 又は 10 をお使いの方へ」に変更。
9	2016.04	サーバ証明書の更新に伴い、「2-3 証明書の設定」の画像を差し替え。

No.	改版日	改版内容
10	2017.04	<p>「1 操作環境について」の「&lt;ソフトウェア&gt;」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows Vista SP2、Internet Explorer 9(32bit)</li> <li>・Windows Vista SP2、Firefox</li> </ul> <p>「1-1 Windows Vista、8.1 又は 10 をお使いの方へ」を「1-1 Windows 8.1 又は 10 をお使いの方へ」に変更。</p>
11	2019.05	<p>サーバ証明書の更新に伴い、「1 操作環境について」の証明書に関する注記、「2-1 EDINET 利用時の操作環境」の「2 証明書の設定」の説明及び「2-3 証明書の設定」を更新。</p> <p>「2-5 フィルタリングソフトを導入している場合」にある「政府共通基盤 (GPKI) (<a href="https://www.gpki.go.jp/">https://www.gpki.go.jp/</a>)」を削除し、「セコムトラストシステムズ社 (<a href="https://repository.secomtrust.net/">https://repository.secomtrust.net/</a>)」を追加。</p>
12	2019.09	<p>「2-4 JRE の設定」の説明内容を最新化。</p>
13	2019.12	<p>「2-3-2 証明書の設定」の「POINT セコムトラストシステムズ社のウェブサイト」について、設定手順に関する参照先(URL)を最新化。</p>
14	2020.01	<p>「1 操作環境について」の「&lt;ソフトウェア&gt;」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows7 SP1、Internet Explorer 11</li> <li>・Windows7 SP1、Firefox</li> </ul> <p>「1-1 Windows 8.1 又は 10 をお使いの方へ」を削除。</p>
15	2020.03	<p>本書の名称を『書類閲覧 利用環境』に変更。章立てを再編し、表現を改善。</p> <p>「<a href="http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a>」を  「<a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a>」に変更。</p>



# 書類閲覧 利用環境

令和 2 年 3 月 1.14 版

---